

平成 23 年 9 月総務会 議事録 (案)

日 時 : 平成 23 年 9 月 13 日(火) 13:30-15:30

会 場 : AIJ 東北支部会議室

出席者 : 田中支部長、安部、浦部、堀、西脇 (記録)、伊藤・瀧 (事務局)

- 資 料 : 資料 1 平成 23 年 7 月常議員会議事録 (案)
資料 2 作品選集 2012 東北支部選考部会選考結果報告
資料 3 2011 年度支部共通事業日本建築学会設計競技東北支部審査会議事録
資料 4 第 22 回東北建築作品発表会発表作品/2011 年度東北建築賞候補推薦書
資料 5 第 22 回東北建築作品発表会プログラム
資料 6 荒巻配水所旧管理事務所の保存に関する要望書
資料 7 2011 年度 AIJ 東北支部 7 月・8 月支出明細
資料追加 『建築雑誌』スリム化について
資料 8 みちのくの風 2012 青森の開催について
資料 9 「2012 年度特色ある支部活動」助成募集要項/応募企画書
資料 10 2012 年日本建築学会教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦依頼
資料 11 2012 年日本建築学会大賞候補の推薦依頼
資料 12 2012 年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼について
資料 13 「作品選集 2013」支部審査員の選定について
資料 14 第 13 期代議員および 2012 年支部役員選挙に伴う事務手続き方をお願い
資料 15 2011 年度収支計算書日本建築学会東北支部

1. 議事録の確認

堀委員より資料 1 に基づいて説明され、議事録として承認された。

2. 報告事項

- 1) 理事会・支部長会議報告 (田中支部長)
 - ・ 回覧資料に基づいて報告がなされた。
- 2) 「作品選集 2012」審査報告 (浦部委員)
 - ・ 8 月 19 日に東北支部の審査会が行われ、7 作品中 6 作品 (A ランク 4 作品、B ランク 2 作品) を推薦することとなった。
- 3) AIJ 設計競技支部審査の結果について (浦部委員)
 - ・ 15 作品が応募され、審査の結果 5 作品を本部への推薦を行った。これらの作品は入選を逃したものの、1 作品はタジマ奨励賞に選ばれた。

- ・ オープンな審査会を、学生を交えて行ってもよいのではないかとの意見が田中支部長より出された。卒業設計日本一決定戦はあるが、地域に密着した形でも行えないか。常議委員会への申し送り事項にしたい。
- 4) 第32回東北建築賞の応募報告（事務局）
 - ・ 資料4に基づいて事務局より説明があった。作品賞については、作品発表会の案内を各建築系大学、高専、事務所などへ行った。作品賞の選考委員長には小山先生（東北工業大学）が就任される。作品賞に加え、研究奨励賞部門にも2件の応募があった。
- 5) 第22回東北建築作品発表会について
 - ・ 資料5に基づいて、上述の作品発表会のプログラムについて説明があった。多くの参加をお願いしたい。
- 6) 東北地方太平洋沖地震および一連の地震災害調査報告会の報告（事務局）
 - ・ 139名の参加者で無事開催されたことが報告された。
- 7) 荒巻配水所旧管理事務所の保存に関する要望書提出報告（事務局）
 - ・ 歴史意匠部会が作成した資料6によって仙台市に要望を出したが、残念ながら保存は難しいとの回答を得た。既に取り壊されたようである。
- 8) 7月8月会計報告（事務局）
 - ・ 資料7および15に基づいて説明が行われた。
 - ・ 震災調査費については、まだ支出されていない部分が多い。5月上旬に少なくとも部会長レベルには提出のお願いをしている。年度内は受け付ける予定である。
- 9) 『建築雑誌』スリム化について（事務局）
 - ・ 資料追加に基づいて本部からの依頼について説明がなされた。電子化に力を入れる方向で、冊子体では次年度より支部研究報告会のプログラムは掲載されなくなる予定である。
- 10) その他（田中支部長）
 - ・ 「東日本大震災に関する東北支部合同調査委員会」について報告があった。建築学会からコミットできる部分も大きいので、多くの参加をお願いしたい。詳細は土木学会東北支部のホームページにも掲載されている。

3. 審議事項

- 1) みちのくの風 2012 青森について
 - ・ 田中支部長より、青森に2012年度の開催を月永先生（八戸工業大学）に対してお願いしたことが報告された。概ねokの返事をいただいている。
 - ・ 資料8に基づいて、企画の概要が事務局より説明された。会場は八戸工業大学、2012年6月16日・17日を第一候補に折衝をすすめていることが事務局

- より報告された。会長の訪問が予定されているので関連事業が予定される。
- ・ (少なくとも) 2004 年以降では 2010 年山形 (東北芸術工科大学) 以外は、大学以外で行われているが、今年度は運営の面から八戸工業大学を会場にする方針にしたい。懇親会は市内のホテルを予定する。
 - ・ 以上の内容を 10 月の常議員会に報告し、審議いただきたい。
- 2) 「特色ある支部活動」企画募集について (事務局)
 - ・ 資料 9 に基づいて説明があった。建築計画・地方計画・建築デザイン教育の 3 部会合同の申請があり、本部へ推薦することとした。
 - 3) 2012 年度日本建築学会教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦について (事務局)
 - ・ 資料 10 に基づいて説明が行われた。今の時点で申請はない。
 - ・ 再度、各部会に対してアナウンスする。
 - 4) 2012 年度日本建築学会大賞業績候補の推薦について (事務局)
 - ・ 資料 11 に基づいて説明が行われた。昨年度に引き続き、川股先生をご推薦したい。堀委員より、船木先生 (東北工業大学) に推薦文の執筆をお願いする。
 - 5) 2012 年度日本建築学会文化賞候補業績の推薦について
 - ・ 資料 12 に基づいて説明が行われた。田中支部長から赤坂憲雄先生 (元東北芸術工科大学教授) をご推薦できないか提案があった。相羽先生 (東北芸術工科大学) にご推薦の可能性を確認する。
 - 6) 作品選集委員会東北支部選考部会内規について (浦部委員)
 - ・ 資料 13 に基づいて説明があった。第 2 条 (部会の構成) について、下記のよう
に常議員に提案する。
「部会委員は、各県 1 名を原則とし、学識経験者・建築設計者団体から推薦された者・常議員の 7 名からなり・・・」
 - ・ 今年度、一度も審査会に参加されなかった志村委員 (東北芸術工科大学) はご退任いただくように、支部長から常議員会に発議する。
 - 7) その他 (事務局)
 - ・ 資料 14 に基づいて、次年度支部役員の選挙についての報告があった。選挙管理委員については、10 月の常議員会で決定する。

今後の予定

11 月 7 日(月) 15:30～ 常議委員会

12 月 19 日(月) 15:30～ 総務会